

審議会等の会議結果報告書

課所名

商工課商業振興係

会議名 令和5年度諏訪市みやげ品審査会

開催日時 令和6年1月30日(火)

出席者 審査会委員(金子公雄会長、竹森公男副会長、宮坂ちとせ委員、藤森恵子委員、佐久秀幸委員、土橋宏次委員、宮坂夏枝委員)、幹事(中島英司幹事、徳永理恵幹事)、事務局(田中節商業振興係長、茅野修一商業振興係主査)

資料 ○令和5年度諏訪市みやげ品審査会次第○委員名簿○推せんみやげ品一覧○みやげ品審査会出品一覧○諏訪市みやげ品の審査基準○食品表示基準における栄養成分表示○みやげ品開発事業奨励金の審査について○諏訪市みやげ品開発事業奨励金取扱基準○諏訪市みやげ品推せん条例・諏訪市みやげ品推せん条例施行規則

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1.開 会 進行:徳永商工課長

2.市長あいさつ 金子市長

おみやげは旅行の記念になり、歴史や文化に触れるツールでもある。そして本市のおみやげ推奨シールはおみやげ選びの一つの基準になっている。

本審査会は、本来は不当表示を取り除く目的だったが、今は新しいおみやげの販売促進が目的になっている。また平成26年から、みやげ品開発奨励金制度ができ、開発を支援してきた。

諏訪市推奨みやげ品は、例えば台東区や秦野市などの様々な交流の場面で活用してきている。そのためにも開発奨励金制度を十分に生かしてもらいたい。

3.会長あいさつ 金子会長

コロナ禍からの売り上げは伸びてはいるが、それは価格自体が上がったからである。コロナ以降、世の中が変わってしまった。おみやげも、人にあげるより自分で使うような傾向がある。

今のおみやげ品は、美味しいのは当たり前で、そこにどういう付加価値を付けるかが大事である。

4.委員等自己紹介

5.みやげ品審査の諮問 市長より会長へ

39品(新規12、変更3、更新24)のみやげ品の審査

4品の「諏訪市みやげ品開発事業奨励金」交付の審査

6.みやげ品審査 進行:金子会長

(1)みやげ品の審査内容について(審査基準、食品表示法等)

事務局より説明

(2)審査

委員による現物審査、可否の検討

○申請39品(新規12、変更3、更新24)→合格36品

・合格した品目についても更なる改善を要望

(3) 諏訪市みやげ品開発事業奨励金の審査

○申請 4 品→交付 2 品

・みやげ品の申請で不合格となったものが 2 品あったことによる

7.そ の 他 事務局

8.閉 会